

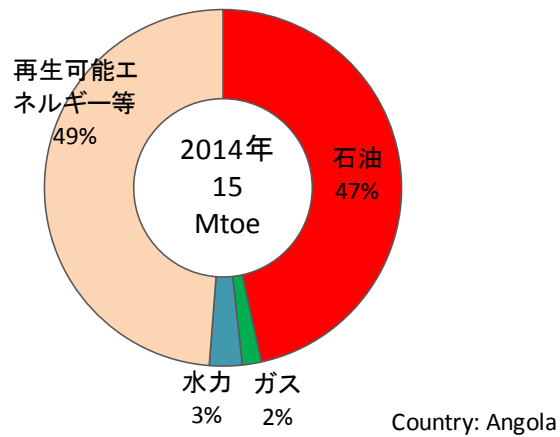
5-7 アンゴラ

1. サマリー

1. エネルギー事情

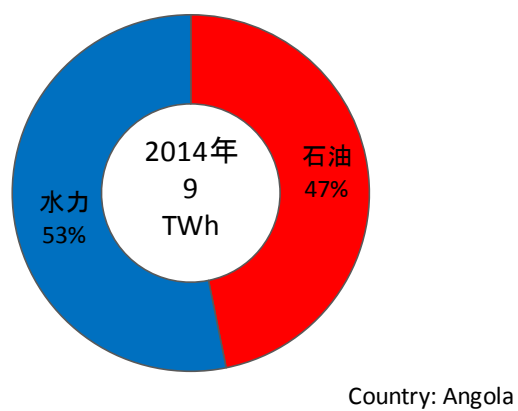
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 15 百万 toe (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.61toe (日本の 0.17 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 641%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 19.3 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 1.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 0.80 CO₂ 換算 ton (日本の 8.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 19.0 年、天然ガス N.A.

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- アンゴラには、石油省（MINPET）とエネルギー・水資源省（MINEA）がある。
- 石油資源に関しては1978年設立の国営石油会社 Sociedade Nacional de Combustiveis de Angola（Sonangol）が、外資と共同で原油・天然ガス開発を行うかたわら、規制機関としての役割も務めていたが、2016年4月末に Sonangol は開発に専念し、新しく設置される最高評議会（Supreme Council）が大統領への報告とともに規制機関としての役割を果たすこととなった。
- 電力に関しては、エネルギー・水資源省所管の下、1980年に設立された国有電力会社 Empresa Nacional de Electricidade（ENE）が発送電を一貫して行なう。

(2) 基本政策

- 2013年、政府は国家開発5カ年計画（2013-2017年）を発表した。非石油部門を積極的に育成し、外資導入や脱官僚・行政の簡素化等により鉱物資源開発、製造業、農業、観光等のサービス産業の育成に力を入れる方針である。
- 随伴ガスも現在焼却処分しているガスを LNG として輸出すべく、パイプラインの建設ならびに LNG 基地建設の計画を進め、石油と合わせて国家歳入を拡大する計画である。
- アンゴラ政府は、2015年の原油生産能力200万b/d達成のみならず、2017年までの Lobito 製油所建設（精製能力20万b/d）もまた、石油部門における目標としている。

(3) 最近の動向

- 火災・漏洩・機器故障が続き2014年4月から運転を停止していたアンゴラ LNG（ALNG：液化能力520万ton/年）プラントは、2016年6月に2年ぶりに LNG を出荷した。
- 2014年央からの原油価格下落に伴う財政悪化への対策として、2014年9月、同年12月、2015年5月、12月と連続して燃料油補助金を削減している。
- 2016年6月、Dos Santos 大統領は Sonangol のトップに娘の Isabel Dos Santos を指名した。
- 2016年8月、Sonangol は Libito 製油所およびターミナルの建設を事業戦略的な観点で中断すると発表した。従前から Sonangol と ENI は建設コストの上昇と資金調達問題でプロジェクトを見直していた。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 我が国の対アンゴラからの原油輸入は2014年度の44.5万klから2015年度は59.5万klへと増加した。石油製品は2015年度にナフサを9.3万kl輸入した。
- 我が国の対アンゴラからの LNG 輸入は2014年4月入着（6.3万ton）から始まったが、アンゴラ LNG 出荷設備のトラブルで、その後の輸入実績は無い。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Angola

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		15 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.61 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.15 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		641 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		19.3 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.80 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	47 %
	天然ガス	47 %
	原子力	0 %
	水力	3 %
	再生可能エネルギー等	49 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-541 %
(9) 石油の輸入依存度		-1,157 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先 (推定)	第1位	中国
	第2位	米国
	第3位	インド

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : World Oil Trade, Wiley Blackwell、中国とインドの貿易統計